



ススキ



丸太の森

四季を肌で感じる事ができる足柄森林公園丸太の森は足柄ふれあいの村のすぐ隣にある魅力たっぷりの施設です。

園内を流れる上総川にはトンボの幼虫ヤゴが育ち、ノスリやヤマドリ、イカル、ルリビタキなどの鳥類も数多く生息し豊かな生態系を育んでいます。毎年ヤマアカガエルが卵を産み、タゴガエルも姿を見せることがあります。

木々の間を飛び移るムササビを観てみたいときには、定期的開催されるムササビ観察会に参加されることをお勧めします。手軽にアウトドア体験を楽しむことができます施設として二年前にリニューアルされ、さらにワクワクする施設になりました。

## 今、ふれあいの村では・・・

十月に入り、朝晩は急に涼しくなりましたね。この記事を書いている頃は、キンモクセイが満開となり、村内は甘い芳香が漂っています。キンモクセイはジンチョウゲ、クチナシと合わせて日本の三大芳香木のひとつに数えられています。風水では南西に植えると、その香りで邪気を払い、良い運気を呼ぶ縁起の良い樹木とされています。

◆日影の斜面に鮮やかな赤い実をつけた樹木がありました。ゴズイです。秋になると紅色の果皮が開いて、中から黒い光沢のある丸い種子が1〜2個現れます。ゴズイと聞くと魚の名前を連想してしましますが、これにはいくつか説があり、材が脆く、木材として役に立たないことから同じく毒があり迷惑がられる魚のゴズイに例えた説や樹皮の模様が魚のゴズイに似ているからなどがあります。



ハギ



クツワムシ



カラスウリ



ゴズイ



キンモクセイ



マテバシイ

ツユクサ

ミッキーマウスの耳みたいな形の青い花びらが一日でしぼんでしばらくすると半月型の苞の中にウサギみたいなものができていた。ウサギの丸い頭は種になるのかな。ウサ耳に見えるものは残った花びらかな。こんなにかわいい種の赤ちゃんになるなんて。

花は一つずつ次々に咲いてはしほみ、苞の中でウサ耳が付いた種になっていく。そんな変化も楽しみだね。



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



センニンソウ



ノササゲ



オオスズメバチ



ハナオチバタケ

紅葉にはまだ少し早いですが、道端にはクヌギやコナラなどのドングリが沢山落ちて秋らしい雰囲気になっています。

◆センニンソウが果実に白い綿毛をつけて風に揺れていました。

和名の由来は髭のように見える綿毛が仙人の髭のように見えることからこの名がついたそうです。夏には爽やかな甘い香りの花を咲かせますが、有毒植物なので注意が必要です。

◆湿った落ち葉の上に赤い小さなキノコの群れを見つけました。ハナオチバタケです。和名の由来は傘を広げた様子が花を咲かせたような植物に見え、落ち葉を分解して生きているためこの名が付いています。そのため森の掃除屋さんの別名もあります。水分量が少ないため、本の間など挟み、押し花のようにすることもできます。読書の秋にキノコのしおりなどいかがでしょうか。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「もりっこ2デイズ②」のご案内

初めてのお泊りキャンプでもOK！自然の中で、幼児に合わせた自然散策やたき火、野外炊事などにより、子どもたちがどんな発見をし、どんなことを思うのか、お子さんの成長をサポートいたします！

実施日) 令和8年2月14日(土)～15日(日)【1泊2日】  
会場) 足柄ふれあいの村  
対象) 幼児(3歳以上～未就学児)とその保護者  
定員) 25人  
参加費) 中学生以上7,200円/3歳以上～未就学児5,400円  
申込期間) 令和7年12月5日(金)～令和8年1月9日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日:12月7日(日)

10:00～12:00《自然観察会》植物のいろいろな顔をさがしてみよう

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話: 0465-72-2010 FAX: 0465-72-2013

指定管理者: 株式会社アグサ

所管課: 神奈川県教育委員会教育局支援部  
子ども教育支援課

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>